

令和元年度 社会福祉法人明 事業報告書

1. 事業の成果

指定から2年目となる生活介護事業について、前年度に続いて運営を行った。2月頃から新型コロナウイルス感染症の影響があったが、感染防止対策を実施しながら概ね通常通りの法人運営、事業所運営を行った。

2. 役員等・評議員等の構成

理事	監事	評議員	評議員選任・解任委員
6名	2名	7名	3名

3. 理事会・評議員会開催

理事会	第51回	令和元年6月	平成30年度事業報告 平成30年度決算報告 社会福祉充実計画 新役員候補者の決定 各種規程の改定 評議員会招集事項
	第52回	令和元年6月	理事長選任 業務執行理事選任
	第53回	令和25年12月	平成31年度補正予算 令和2年度事業計画 令和2年度予算 理事長及び理事の退任 理事候補者の決定 評議員候補者の承認 評議員会招集事項
	第54回	令和2年2月	理事長選任

評議員会	第 45 回	令和元年 6 月	平成 3 0 年度事業報告 平成 3 0 年度決算報告 社会福祉充実計画 役員を選任 各種規程の改定
	第 46 回	令和 2 年 2 月	平成 3 1 年度補正予算 令和 2 年度事業計画 令和 2 年度予算 理事を選任
評議員選任・解任委員会	第 2 回	令和 2 年 2 月	評議員の選任

4. 実施事業

事業所名	事業形態	定員
港つぼみ作業所	生活介護	30 名

5. 公益的取組

- (1) なごや・よりどころサポート事業に参加し、名古屋市の「生活困窮者就労訓練事業」の認定を受けているが、本年度は就労体験・中間的就労の受け入れはなかった。
- (2) 利用契約者の入退院時の支援として、入院中の病室訪問、医師・看護師等のカンファレンス参加、相談支援員との担当者会議実施を積極的に行い、状況の把握や必要な連絡調整した。

令和元年度 港つぼみ作業所 事業報告書

1. 運営の成果

前年度に引き続き、生活介護事業所として、個別支援計画を策定し、生活の支援や相談、排せつ及び食事の等の日常生活介護、創作的活動及び生産活動の機会の提供を行った。日課としている作業について、利用者の個々の状況に配慮し、本人の能力や意欲を尊重した作業内容や作業量になるよう支援を行い、仕事及び工賃の確保に努めた。

港区役所、特別支援学校（養護学校）、基幹相談センター、相談支援事業所、その他の事業所並びに医療機関など、必要に応じて様々な機関と連携し、利用者心身の健康状態を把握するとともに、支援に必要な情報の共有や健康管理に努めた。

希望や問い合わせに応じて、随時見学や体験実習の受け入れを行った。

2. 事業所概要

事業所名	事業形態	定員／利用契約者
港つぼみ作業所	生活介護（平成30年4月1日指定）	30名／21名

3. 事業内容

就労支援事業では、企業からの問い合わせでパチンコ部品シール貼りの作業を新規受注したが、3ヶ月程度の単発で終了した。その他の作業や販売の内容は例年と変わらなかった。新型コロナウイルスの影響により3月から受託作業の受注量が大幅に減少した。縫製品のマスクの売り上げは伸びた。

行事等の活動は、例年と同様に各種行事の開催や参加を行った。新卒者の新規利用に合わせて4月に入所式を行った。日産労連からチャリティー人形劇の申し出を受け、作業所内で上演していただいた。

（1）就労支援事業

- ア. 受託作業：紙箱組立、割り箸封入、弁当箱シール貼り、ゴム部品バリ取り、パチンコ部品シール貼り、ボール遊具洗浄
- イ. 製造販売：縫製品（マスク・巾着袋等）、ふきん、洗濯バサミ
- ウ. 資源販売：廃電線等、アルミ缶等、古紙ダンボール等

（2）行事・課外活動・その他の活動

- ア. 地域生活：港区ふれあい広場参加、地域ふれあい祭り開催、地域清掃
- イ. 課外活動：給料取り組み、社会科見学、風俗習慣
- ウ. その他：入所式、チャリティー人形劇

4. 利用状況

4月に養護学校新卒者の利用開始が2名、港区役所保護係からの依頼により7月に利用開始が1名あり、新規利用者は3名であった。保護者との生活が困難になり施設入所

のため7月の利用が最後となった1名の退所があった。

4月に膝の人工関節手術を実施した利用者及び、糖尿病により入退院を繰り返した利用者の利用頻度が少なかった。年間平均実利用者数は16.2となった。

5. 利用者の給料

利用者に日給制で工賃を月額支給した。半年ごと（9月と3月）に就労支援事業収入から必要経費を控除した額を個別の作業頻度に応じて賞与として支給した。年間支給実績は月給841,350円、賞与580,300円で、平均月額工賃は5,850円となった。

6. 営業日

年間計画に従い、平日と指定する土曜日等で毎月歴日数－8日の開所を原則として営業を行った。5月のみゴールデンウィークの影響で歴日数－9日の開所となった。昨年度は10月に開催された港区ふれあい広場が、本年度は9月開催になったため営業日と振替休日をずらした。

7. 職員体制

年度内の採用、退職はなかった。8月に生活支援員の非常勤1名の勤務条件変更を行った。

施設長（管理者）	常勤 兼務	1名
サービス管理責任者	常勤 兼務	1名
生活支援員	常勤 専従	3名
	非常勤 専従	5名
看護職員	非常勤 専従	1名
医師	嘱託医	1名

8. 資質向上

援助技術や知識・専門スキルの習得を図るため、職務上の必要性や関連性を考慮して常勤職員が年度内に各1回以上外部研修に参加した。4月と5月にそれぞれ、記録記入についてと制度周知の内部研修を行った。

9. 防災対策

（株）日立ビルシステムによる消防設備点検を年2回（5月・11月）実施。防火設備、防災設備及び備蓄飲食料の自主点検を年1回（8月）実施。消防計画に基づく避難・消火・通報の訓練を年2回（5月・11月）実施。避難場所や避難経路確認等の防災教育を年1回（9月）実施。南海トラフ地震防災対策計画及び避難確保計画に基づき、避難訓練を年1回（8月）実施。

10. 苦情受付・解決状況

苦情受付件数 0 件

受付年月	申出人	内容	経過及び結果

11. その他の報告

- (1) 名古屋市の指定障害福祉サービス事業者等に対する実施指導の結果（通知）を受け、実地指導自体は平成 30 年 12 月に行われているもので、その結果として文書で令和元年 10 月に改善指示を受け、改善を報告した。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策として、2 月から利用者の毎朝の検温、来所時や外出から戻った際の手指の消毒、職員の毎日の検温及び健康申告、換気、消毒（取っ手・ドアノブ・手すり・ボタン・スイッチ等）、昼食時の部屋分散、来客者のマスク着用及び手指消毒の徹底を行った。